

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>
二国間クレジット制度（JCM） <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>
◇トピックス

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 日・Bangladesh 合同委員会による電子決裁

日・Bangladesh 合同委員会は電子決裁により第三者機関（TPE）に関する決定を行いました

[2] JCM 承認済方法論：MN_AM003「Installation of Solar PV System」（モンゴル）改定に関するパブリック・インプット（2024 年 5 月 23 日～2024 年 6 月 6 日）を開始しました

[3] 第 1 回 日・セネガル合同委員会

第 1 回 日・セネガル合同委員会がダカルおよびオンラインにて開催されました

[4] パリ協定 6 条実施パートナーシップの第 1 回民間部門作業部会が開催されました（2024 年 5 月 28 日）

[5] 「コラム」に新しい記事をアップしました

ウェビナー傍聴：Ecosystem Marketplace 説明会：2024 年の自主的炭素市場の状況（2024 年 5 月 30 日）

◆2. 政府機関の報道発表

[1] セネガルにおける二国間クレジット制度（JCM）の第 1 回合同委員会を開催しました（環境省）

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 日・Bangladesh 合同委員会による電子決裁

日・Bangladesh 合同委員会は電子決裁により第三者機関（TPE）に関する決定を行いました

【詳細】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/bd-jp/information/511>

【Bangladesh における最近の動向】

⇒ <http://carbon-markets.env.go.jp/jcm/initiatives/bangladesh.html>

[2]JCM 承認済方法論：MN_AM003「Installation of Solar PV System」（モンゴル）改定に関するパブリック・インプット（2024 年 5 月 23 日～2024 年 6 月 6 日）を開始しました

【詳細】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/mn-jp/information/512>

【モンゴルにおける最近の動向】

⇒ <http://carbon-markets.env.go.jp/jcm/initiatives/mongolia.html>

[3] 第 1 回 日・セネガル合同委員会

第 1 回 日・セネガル合同委員会がダカルおよびオンラインにて開催されました

【詳細】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/sn-jp/information/513>

【セネガルにおける最近の動向】

⇒ <http://carbon-markets.env.go.jp/jcm/initiatives/senegal.html>

[4] パリ協定 6 条実施パートナーシップの第 1 回民間部門作業部会

2024 年 5 月 28 日：パリ協定 6 条実施パートナーシップの第 1 回民間部門作業部会が開催されました（A6IP・英語）

【詳細】

⇒ <https://a6partnership.org/1st-private-sector-working-group-meeting-of-the-paris-agreementarticle-6-implementation-partnership/>

[5] 「コラム」に新しい記事をアップしました

日時：2024 年 5 月 30 日（木）

主催：Forest Trends, Ecosystem Marketplace (EM)

本ウェビナーでは、Ecosystem Marketplace (EM)が 2024 年 5 月末に発行した年次レポート「2024 年の自主的炭素市場の状況（2024 State of the Voluntary Carbon Markets）」が紹介され、プロジェクト開発者および VCMi からコメントやそれぞれの取組が共有された。

レポートによれば、自主的炭素市場全体では、2023 年は取引総量と取引総額の両面において 2022 年より縮小し、2021 年以前の水準に戻った。これは、「森林・土地利用」と「再エネ」の категорияにおける取引量が前年比で大幅に減少したこと起因している。また、取引価格については微減に留まっており、環境・社会的なコベネフィットを有するクレジットは、そうでないものよりも高い価格での取引が行われた。そ

の他、カテゴリーやタイプ別または地域別では取引の増加が見られるものがあることが共有された。

プロジェクト開発者の立場からは、昨今の自主的炭素市場の信頼性への懸念による厳しい市場環境について言及があり、品質レーティングサービスやクレジット制度による評価やモニタリングの課題が指摘された。また、そもそもの森林保全やコベネフィットの重要性と、それを実現するためのクレジット価格の上昇の必要性が強調された。クレジットの需要側の基準策定に取り組む VCM I からは、企業による初めての VCM I の活用事例の紹介や、VCM I や ICVCM に沿った政府の自主的炭素市場への関与について言及された。

【詳細】

2024 State of the Voluntary Carbon Markets は Ecosystem Marketplace ウェブページからダウンロード可能

⇒ <https://www.forest-trends.org/publications/state-of-the-voluntary-carbon-market-2024/>

【傍聴報告】

⇒ http://carbon-markets.env.go.jp/wp-content/uploads/2024/02/20231203_COP28_memo_OECC_20240131.pdf

◆ 2. 政府機関の報道発表

[1] セネガルにおける二国間クレジット制度（JCM）の第 1 回合同委員会を開催しました（環境省）
【報道発表】

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_03251.html

◎ ●お問い合わせについて

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度（JCM）や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCM の制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、メールにてお気軽にご相談ください。

⇒ info@carbon-markets.go.jp

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー（PDF）は下記サイトで公開しています（最新号を配信後に、前号がアップされます）。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2021/>

◎ ●発行・編集

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング 3 階

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。